

## REQUEST # RFP\_2018\_3751(3752) 血糖値上昇または肥満を抑制する食品素材

提案提出期限: 2018年8月6日

コンタクト先:

柳川 琢磨, [PHD2@ninesigma.com](mailto:PHD2@ninesigma.com)

提案者にとっての機会

共同・受託開発、ライセンス、原料供給

期間

フェーズ1: パートナー選定 1年以内

フェーズ2: 量産化検討 2年以内  
(フェーズ1終了後)

予算

共同開発のための予算は確保済み (提案内容に応じて応相談)



### 提案募集概要

ナインシグマ社は、売り上げ兆円規模のグローバルな飲料メーカーを代理して、食後の血糖値上昇または肥満を抑制する食品素材を求めている。具体的には以下の2タイプのいずれかに該当する素材を求めている。

- (1) 食後の血糖値上昇または肥満を抑制するコーヒー由来成分
- (2) 血糖値上昇を抑制する食品素材/食品添加物

### 求める成分の要件

- (1) 食後の血糖値上昇または肥満を抑制するコーヒー由来成分

- 原料がコーヒー（生豆、焙煎豆、チェリー、抽出液等）または、コーヒー豆等に特殊な処理を施したものであること
  - ただし、クロロゲン酸は対象外とする
- 以下のいずれかの方法で、食後の血糖値上昇または肥満を抑制する根拠が示せること
  - 伝承的知識
    - 例：「●●地方のコーヒーは肥満対策として飲用されている」という情報
  - In vitro 評価
  - In vivo 評価
  - ヒト試験

### (2) 血糖値上昇を抑制する食品素材/食品添加物

- 以下のいずれかの試験で、血糖値上昇を抑制する効果が証明されていること
  - In vitro 評価：以下のいずれか
    - DPP-4(dipeptidyl peptidase-4)阻害
    - AMPK(AMP-activated protein kinase) 活性化
  - In vivo 評価（動物）
  - ヒト試験
- 安全性データや認証があれば好ましいが、必須ではない
- 活性成分が特定されていれば好ましいが、必須ではない

### 背景

現在、糖尿病患者や肥満の増加が世界各国で医療費増大などの社会問題となっており、その予防のため、食後血糖値上昇や肥満の抑制技術の重要性が高まっている。依頼主は画期的な健康飲料を開発するため、従来成分よりもさらに効果的に血糖値上昇や肥満を抑制する新成分を求めている。そこで、依頼主は世界中から有力なパートナーを見出し、健康飲料の開発を加速する為、技術募集を行うこととした。

## 提案書への記載が推奨される事項

提案書には可能な範囲で下記の項目の記載をお願いいたします。

- 提案する技術の概要
- 提案する成分
- 開発ステージ  
(研究レベル/量産検討中/量産中)
- 血糖値上昇/肥満を抑制する根拠
  - 試験方法
  - 試験結果
  - メカニズム
- 健康飲料に応用する場合に想定される課題と克服するアイデア
- サンプルテスト可否やその条件
- 量産化の見通し
- 過去の実績（研究論文、特許など、研究開発能力を示せる付加的な情報、等）
- 組織概要

弊社のオープンイノベーションコミュニティ

[NineSights](#)にて提案を提出いただくことで、提案履歴などを一元管理いただけます。ご登録や提案提出に際しての不明点は弊社ヘルプデスク [PHD2@ninesigma.com](mailto:PHD2@ninesigma.com) までお問い合わせください。

## 提案作成時の注意事項

簡潔に要点を絞って提案内容を記載ください。必要に応じて添付資料を追加することも可能です。

また、機密情報を含まないようご注意ください。提案提出後、依頼主による選考を経て有望と判断された場合、必要に応じて依頼主との間で秘密保持誓約書を交わし、技術や協業条件についての詳細を直接議論いただくこととなります。

## 想定されるプロジェクトの進め方

依頼主は、はじめに書面による一次スクリーニングを行います。その後、有望な提案に対して追加質問や直接の議論を行い、最終選考に進む候補を選定します。選定後、依頼主は、サンプルテストなどを通して、技術の確認を行います。選考の過程で、必要に応じて提案者と依頼主は秘密保持契約（NDA）を締結し、さらなる情報開示や具体的な開発の進め方の議論を行います。

その後、提案者と必要な契約を提携し、技術の実証・追加開発などを行い、技術の確立を目指していただきます。具体的な協業体制については協議の上決定いただくこととなります。

## 提案の評価基準

受領した提案に対する評価は、すべて依頼主が行います。提案内容は以下の観点から評価されます。

- 提案する技術の概要、パフォーマンス
- 目標スペックを実現するための開発計画と実現の根拠
- 経済的実現可能性
- 目標スペックを実現するための提案計画の現実性（活動内容、期間、役割、成果、費用見積り額）
- 所有権の可能性（独占権、優先権など）
- 関連実績など、提案組織の実力